

【用語の解説】（五十音順）

用語	解説
亜型検査	<p>同じグループに属する型をさらに詳細な型を調べる検査。</p> <p>「インフルエンザ亜型検査」であれば、インフルエンザの種類を新型か香港型かソ連型かを調べることを指す。</p>
アジアかぜ	<p>1957年（昭和32年）に中国南西部で発生した当時の新型インフルエンザであり世界で約200万人が罹患したとされている。</p>
陰圧病床	<p>院内感染を防ぐために、病室の内部の気圧をその外部の気圧より低くすることによって、外部に感染症の病原体を拡散させないようにしている病床。</p>
インフルエンザ	<p>インフルエンザは、インフルエンザウイルスによる感染症で、原因となっているウイルスの抗原性の違いから、A型、B型、C型に大きく分類される。A型はさらに、ウイルスの表面にある赤血球凝集素（HA）とノイラミニダーゼ（NA）という、2つの糖蛋白の抗原性の違いにより亜型に分類される。（いわゆるA/ソ連型（H1N1）、A/香港型（H3N2）というのは、これらの亜型を指している。）</p>
ウイルス学的サーベイランス	<p>流行している新型インフルエンザウイルスの抗原性、遺伝子型、抗インフルエンザウイルス薬への感受性を調べ、ワクチンの効果や治療方法の評価、あるいはそれらの変更の根拠とするためのシステム。</p>
疑い症例調査支援システム	<p>感染症サーベイランスシステム（NESID）等を用いて、大規模な流行の可能性のある感染症に感染した疑いがある患者に関する情報（行動履歴、接触者情報を重点に置く。）を登録し、疫学的リンクや異常な症状から、新しい亜型のインフルエンザ患者を発見するために、疑われる症例を診断に結びつけていくシステム。</p>
疫学調査	<p>感染者や感染者に接触歴のある方を対象として、感染症の原因や動向を調べ、感染源等を調査すること。</p>
家きん	<p>鶏、あひる、うずら等、家畜として飼養されている鳥。</p> <p>なお、家畜伝染病予防法における高病原性鳥インフルエンザの対象家畜として、鶏、あひる、きじ、だちょう、ほろほろ鳥及び七面鳥が指定されている。</p>

感染症サーベイランスシステム (NESID)	<p>感染症法では、感染症の発生を迅速に把握することによって、感染症の予防と拡大防止、そして国民に正確な情報を提供することを目的として、日常的に種々の感染症の発生動向を監視している。これは感染症を診断した医療機関からの発生報告を基本としており、これらの発生報告を一元的に効率よく収集解析するために、地方自治体と国の行政機関を結ぶネットワーク又はインターネットをベースに構築された電子的なシステムを指す。</p>
感染症指定医療機関	<p>感染症法に規定する特定感染症指定医療機関、第一種感染症指定医療機関、第二種感染症指定医療機関及び結核指定医療機関のこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 特定感染症指定医療機関：新感染症の所見がある者又は一類感染症、二類感染症若しくは新型インフルエンザ等感染症の患者の入院を担当させる医療機関として厚生労働大臣が指定した病院。 * 第一種感染症指定医療機関：一類感染症、二類感染症又は新型インフルエンザ等感染症の患者の入院を担当させる医療機関として都道府県知事が指定した病院。 * 第二種感染症指定医療機関：二類感染症又は新型インフルエンザ等感染症の患者の入院を担当させる医療機関として都道府県知事が指定した病院。 * 結核指定医療機関：結核患者に対する適正な医療を担当させる医療機関として都道府県知事が指定した病院若しくは診療所（これらに準ずるものとして政令で定めるものを含む。）又は薬局。
感染症病床、結核病床	<p>病床は、医療法によって、一般病床、療養病床、精神病床、感染症病床、結核病床に区別されている。感染症病床とは、感染症法に規定する新感染症、一類感染症、二類感染症及び新型インフルエンザ等感染症などの患者を入院させるための病床であり、結核病床とは、結核の患者を入院させるための病床である。</p>
基礎疾患を有する者等	<p>妊婦、幼児又は呼吸器疾患（喘息を含む。）、心疾患（高血圧を除く。）、腎疾患、肝疾患、神経疾患、神経筋疾患、血液疾患、代謝性疾患（糖尿病を含む。）、免疫機能不全（HIV、悪性腫瘍を含む。）等を有しており、治療経過や管理の状況等を勘案して、医師により重症化へのリスクが高いと判断される者等を指す。</p>
急性呼吸器症状	<p>急に咽頭痛、咳嗽、鼻汁、鼻づまり、喀痰、呼吸困難などを発症する症状である。</p>
業務継続計画	<p>新型インフルエンザが発生した際、事業内における感染拡大防止と社会機能維持の観点から、欠勤率が最大40%になることも想定しつつ、職場での感染防止策を徹底するとともに、重要業務を継続し又は不要不急の業務を縮小・中止するため、各事業者において事業を継続するための計画。</p>

クラスターサーベイランス	感染のみられた集団（クラスター）を早期に発見するため、一定の大きさの集団を対象に、その集団における患者の発生动向を監視するシステム。
抗インフルエンザウイルス薬	インフルエンザウイルスの増殖を特異的に阻害することによって、インフルエンザの症状を軽減する薬剤。ノイラミニダーゼ阻害剤は抗インフルエンザウイルス薬の一つであり、ウイルスの増殖を抑える効果がある。
個人防護具 （PPE： Personal Protective Equipment）	マスク、ゴーグル、ガウン、手袋等のように、各種の病原体、化学物質、放射性物質、その他の危険有害要因との接触による障害から個人を守るために作成・考案された防護具。特に病原体の場合は、その感染を防御することが目的であり、感染経路や用途（スクリーニング、診察、調査、侵襲的処置等）に応じて適切なPPEを考案・準備する必要がある。
サーベイランス	見張り、監視制度という意味。 特に人の感染症に関しては、感染症法に基づき、感染症の発生状況（患者及び病原体）の把握及び分析が行われている。
指定届出機関	感染症法に規定する五類感染症のうち厚生労働省令で定めるもの又は二類感染症、三類感染症、四類感染症若しくは五類感染症の疑似症のうち厚生労働省令で定めるものの発生の状況の届出を担当させる病院又は診療所のこと。
症候群サーベイランス	あらかじめ指定する医療機関において、一定の症候を有する患者が診察された場合に、即時的に報告を行ってもらい、感染症の早期発見を目的とするシステム。
症例定義	それぞれの病気に対して症例を定めたもの。
人工呼吸器	救急時・麻酔使用時等に、患者の肺に空気又は酸素を送って呼吸を助けるための装置。
スペインかぜ	1918年（大正7年）にスペインを中心にそれまでのインフルエンザと異なる形でのH1N1型の新型インフルエンザが発生し、世界的に流行し、世界中で約4,000万人が死亡したとされる。その後、この型が変異しソ連型インフルエンザウイルス（H1N1型）が発生した。
咳エチケット	感染症を他人にうつさないように心がける次のようなマナーのこと。 ※ 咳・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。 鼻汁・痰などを含んだティッシュをすぐに蓋付きの廃棄物箱に捨てられる環境を整える。 咳をしている人はマスクを着用し、他の人への感染を防ぐ。

積極的疫学調査	<p>新型インフルエンザ感染患者を確認したとき、感染症法第15条に基づき、その症例調査と接触者調査を行うこと。</p> <p>症例調査とは、症例に対して、疫学情報や臨床情報などに関して直接情報収集を行い、臨床部門、検査部門との調整により、検体検査も行う。</p> <p>また、症例の行動に関する詳細な情報の把握と接触者のリストアップを行うとともに感染源を特定していく。</p> <p>接触者調査とは、症例の接触者に対する調査であり、接触者に対する電話指導等による保健指導を行い、接触者の状況を追跡及び調査を行う。</p>
停留措置	<p>感染症の病原体を持った患者は、防疫法第16条に基づき、指定された医療機関等において一定期間隔離され、病原体がなくなった時に停留措置は解除される。</p>
トリアージ	<p>災害発生時などに多数の傷病者が発生した場合に、適切な搬送、治療等を行うために、傷病の緊急度や程度に応じて優先順位をつけること。</p>
鳥インフルエンザ	<p>A型インフルエンザウイルスを原因とする鳥の感染症のこと。このうち、家きんに対し高い死亡率を示すなど特に強い病原性を示すものを「高病原性鳥インフルエンザ」という。</p> <p>近年、鳥から人への偶発的な感染事例が認められているが、病鳥又はその死骸やそれらの内臓、排泄物等に濃厚に接触した場合等に起こると考えられており、十分に加熱調理された鶏肉や鶏卵からの感染の報告はない。</p> <p>なお、感染症法においては、鳥由来のH5N1亜型のインフルエンザウイルスが人に感染することで引き起こす疾患を「鳥インフルエンザ(H5N1)」という。</p>
入院勧告	<p>感染症法第26条の規定により準用する同法第19条及び20条に基づき、知事が新型インフルエンザ感染患者に対して医療機関（特定感染症指定医療機関、第一種感染症指定医療機関若しくは第二種感染症指定医療機関等）に入院をさせること。</p> <p>入院期間は、10日間以内とされており、退院は、同法第22条で患者が病原体を保有していないことが確認されたときとなる。</p>
濃厚接触者	<p>新型インフルエンザ患者と同一住所に居住する者、患者処置に个人防护具（PPE）を適切に装着しなかった医療関係者（感染防御なし）又は新型インフルエンザ患者と対面で比較的長時間の会話等の接触のあった者（感染防御なし）を指す。</p>

発熱外来	<p>新型インフルエンザに係る診療を効率化し混乱を最小限にするために設置される外来専門の医療施設。第三段階の感染拡大期までの発熱外来は、新型インフルエンザの患者とそれ以外の疾患の患者とを振り分けることで両者の接触を最小限にし、感染拡大の防止を図ることを目的とする。第三段階のまん延期以降における発熱外来は、感染防止策を徹底した上、新型インフルエンザの患者の外来集中に対応することに加え、軽症者と重症者のトリアージにより入院治療の必要性を判断することを目的とする。</p>
発熱相談センター	<p>都道府県及び市町が保健所等に設置する電話対応専門の施設。新型インフルエンザの患者の早期発見、当該者が事前連絡せずに直接医療機関を受診することによるそれ以外の疾患の患者への感染の防止、地域住民への心理的サポート及び特定の医療機関に集中しがちな負担の軽減等を目的とする。</p>
パンデミック	<p>感染症の世界的大流行。</p> <p>特に新型インフルエンザのパンデミックは、近年これが人の世界に存在しなかったためにほとんどの人が免疫を持たず、人から人へ効率よく感染する能力を得て、世界中で大きな流行を起こすことを指す。</p>
パンデミックサーベイランス	<p>第一段階から第二段階までの間、国内発生を可能な限り早期に発見することを目的として、定点医療機関等において、軽症例の患者の集積及び重症例の患者の集積を把握するサーベイランスシステム。</p> <p>第三段階から第四段階までの間、新型インフルエンザの発生動向等を迅速に把握及び還元することを目的として、指定届出機関において、外来患者数、入院患者数及び死亡者数を把握するサーベイランスシステム。</p>
パンデミックワクチン	<p>新型インフルエンザが発生した段階で、出現した新型インフルエンザウイルス又はこれと同じ抗原性をもつウイルスを基に製造されるワクチン。</p>
PCR (ポリメラーゼ連鎖反応)	<p>DNAを、その複製に関与する酵素であるポリメラーゼやプライマーを用いて大量に増幅させる方法。ごく微量のDNAであっても検出が可能のため、病原体の検出検査に汎用されている。インフルエンザウイルス検出の場合は、同ウイルスがRNAウイルスであるため、逆転写酵素 (Reverse Transcriptase) を用いてDNAに変換した後にPCRを行うRT-PCRが実施されている。</p>
プレパンデミックワクチン	<p>新型インフルエンザが発生する前の段階で、新型インフルエンザウイルスに変異する可能性が高い鳥インフルエンザウイルスを基に製造されるワクチン。(現在はH5N1亜型を用いて製造)</p>
香港かぜ	<p>1968年(昭和43年)に香港で発生したとされるH3N2型のインフルエンザで50万人がなくなるとされている。</p>

予防接種副反応迅速把握システム	ワクチンの副反応の状況を把握するシステム。接種継続の是非，対象者の限定，予防接種優先順位の変更等の判断に役立てることを目的とする。
リスクコミュニケーション	我々を取り巻くリスクに関する情報を，行政，住民などの関係主体間で共有し，相互に情報伝達を行い，意思疎通を図ること。

【発生段階別サーベイランス実施一覧表】

区 分	発生段階		
	未発生期	海外発生期	国内発生期 ～小康期
疑い症例調査支援システム			
【収集対象情報（以下同じ）】 患者基本情報，検査依頼・結果，行動履歴， 接触者情報，接触者健康管理	○	○	○
ウイルス学的サーベイランス			
抗原性，遺伝子型，薬剤耐性等	○	○	○
学校保健安全法第18条に基づく動向調査			
出席停止，学級閉鎖等	○	○	○
外来受診時症候群サーベイランス			
年齢群別38℃以上の発熱及び呼吸器症状を呈 する外来患者数		○	○
入院時肺炎症候群サーベイランス			
入院時に肺炎症状を呈する患者		○	○
クラスターサーベイランス			
疫学的なリスクのある類似の症状を呈する2 人以上の患者の存在		○	○
予防接種副反応迅速把握システム			
予防接種日，ロット番号，症状等		○	○
臨床情報共有システム			
死亡率，副作用，耐性		○	○
パンデミック時インフルエンザ疾患 サーベイランス			
年齢群別38℃以上の発熱及び呼吸器症状を呈 する外来患者数			○
パンデミック時死亡数迅速把握システム			
総死亡者数			○